

### < 記入例 >

## 監護相当・生計費の負担についての確認書

(宛先) 津島市長

私は、以下に記載する者(注)について、生計費の負担」という。)を下記のとおり申立てが真正であることの証明を求められ

注 18歳に達する日以後の最初の3月31日を経過した後

※この確認書は「児童手当の対象年齢の児童(高校生年代まで)」とその「児童の兄姉等(大学生年代)」の合計人数が3人以上になるときは提出が必要です。裏面の注意をよく読んで、ご記入ください。

※大学生年代のお子様について、進学・就職を問わず、経済的負担がある場合(見込みも含む。)は対象になります。ただし、お子様が就職等をして、経済的にも自立しているなど、請求者が養育していない場合は対象となりません。

※監護相当・生計費の負担の状況は見込みを記載していただいてもかまいません。

※進学予定先や就職内定先のほか、進学先又は就職先が決まっていない場合は、「未定」と記載してください。なお、この確認書による申立て内容から変更が生じた場合(記載事項のうち未定であったものが確定した場合を含む。)には改めてこの確認書の提出が必要になります。

(以下「監護相当・  
照)

1	ふりがな 氏名 つしま いちろう <b>津島 一郎</b>	生年月日 平成 令和 15 年 5 月	職業等(いずれかに○) 子	個人番号 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5	続柄 子	職業等(いずれかに○) 学生・無職	通学先(学生の場合のみ) 〇〇大学	卒業予定時期(学生の場合のみ) 令和 9 年 3 月	0 1.同居し、日常生活上の世話・必要な保護をしている 2.別居しているが、定期的な連絡・面会等をしており、監護相当である 3.その他( )	1.生活費(食費、家賃等) 2.学費 3.その他( )	
	対象者の監護相当の状況・生計費負担の状況をご記入ください。										
	18歳年度末以降22歳年度末までのお子様で、親が監護し生計費を負担する予定の場合は氏名・生年月日・個人番号(マイナンバー)・申立人(請求者・受給者)からみた続柄・住所をご記入ください。										
2	ふりがな 氏名 つしま じろう <b>津島 次郎</b>	生年月日 平成 令和 18 年 6 月 1 日	職業等(いずれかに○)※ 子	個人番号 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6	続柄 子	職業等(いずれかに○)※ 学生・無職・その他	通学先(学生の場合のみ)	卒業予定時期(学生の場合のみ)	0 1.同居し、日常生活上の世話・必要な保護をしている 2.別居しているが、定期的な連絡・面会等をしており、監護相当である 3.その他( )	1.生活費(食費、家賃等) 2.学費 3.その他( )	
	通学先の卒業予定年月も必ずご記入ください。 卒業時期に変更があった場合または卒業後も22歳年度末まで監護等を継続している場合には、改めて「監護相当・生計費の負担についての確認書」の提出が必要になります。										
	就職はしているが、日常生活上の世話・必要な保護、生計費の負担を児童手当の受給者(請求者)が行っている場合は「その他」に○をしてください。										
3	ふりがな 氏名	生年月日	職業等( )	個人番号	続柄	職業等( )	通学先(学生の場合のみ)	卒業予定時期(学生の場合のみ)	0 1.同居し、日常生活上の世話・必要な保護をしている 2.別居しているが、定期的な連絡・面会等をしており、監護相当である 3.その他( )	1.生活費(食費、家賃等) 2.学費 3.その他( )	
	「その他」の場合は、( )内に監護相当や生計費負担の状況についてご記入ください。										
	申立人による監護相当の状況(いずれかに○) 申立人による生計費の負担の状況(該当するものすべてに○)										

※ 学生がアルバイト等をしている場合は学生に○をつける。

記載内容について上記のとおり相違ありません。

郵送する日または窓口で提出する日をご記入ください。

令和 ○ 年 ○ 月 ○ 日

【申立人】(児童手当の請求者・受給者)

住所

津島市〇〇町〇丁目〇番地

氏名

津島 太郎

児童手当の受給者（請求者）の住所・氏名をご記入ください。

◎ 裏面の注意をよく読んでから記入してください。